

私たちの税金、一般会計約171億円 無駄なく効率的に生かされるか

歳入

- Q** 令和6年度と比較して個人住民税が約9,000万円、固定資産税が約2億円増となっているが理由は。
- A** 個人住民税は景気回復と所得の増を、固定資産税については新築家屋を275棟と見込んでいる。

まちづくり

- Q** モノレール(仮称)No. 6駅と南北のアクセス、新青梅街道と青梅街道までの区間をつなぐ道路整備費として委託料が計上されているが内容は。

- A** 都市づくり公社に一部業務を委託するため予算化した。事業認可に向けて、調査、設計などを開始する。7年度は交通量調査、将来交通量推計、測量、設計といった業務を予定している。



多摩都市モノレール延伸を契機とした瑞穂町まちづくり基本計画 将来道路図

- Q** 箱根ヶ崎駅の西側にある3か所の公園の工事設計委託料として約3,500万円計上しているが内容は。

- A** 一番大きな稲荷ヶ丘公園にはトイレ、複合遊具などを設置する予定。また、駅西公園は幼児用ブランコなど、宿西公園には遊具の設置はせずに花と木を植えることを想定している。

生活・環境

- Q** 駅自転車等駐車場および東西自由通路LED化工事設計の委託料として335万円計上しているが高額ではないか。

- A** 令和9年度中に蛍光ランプの生産中止が決定しているため、8年度に器具の取り替え工事を実施する予定。駅と接続している施設であり、適切な工事を行うため専門業者による設計が不可欠。

産業・観光

- Q** 雇用就農推進支援事業補助金に約1億9,000万円計上されているが内容は。

- A** 15,000㎡の農地(元狭山地区)で果樹栽培する農業法人の施設整備費で、地元の方の雇用も期待される。なお、補助金は全額都が負担する。

- Q** 公式キャラクターみずほまるのぬいぐるみ作製委託料として386万円計上しているが内容は。

- A** みずほまるのぬいぐるみ(カプセルトイ)を3種類各3,000個合わせて9,000個作成し、大型ホームセンターや直売所などで1個500円で販売することを検討している。



令和5年度に販売したみずほまるのカプセルトイ



くらし・安全

- Q** 防犯カメラ更新等工事約5,000万円の更新内容は。

- A** 通学路には53台の防犯カメラが設置されているが、旧機種38台を最新のものに更新するとともに、河川氾濫用の監視カメラ1台を増設する。さらに、これら54台全てのカメラに通信回線機能を付加し、役場でリアルタイムで映像が見られるようにする。

- Q** 自動体外式除細動器(AED)一式の備品購入費として約1,000万円計上しているが内容は。

- A** 町内にある21店舗のコンビニエンスストアに1台36万3,000円のAEDと1台68,000円の収納ボックスを21台設置する。

- Q** 石畑防災広場の拡張整備工事の内容は。

- A** アスファルト舗装、外周のフェンス構築、倉庫棟3棟、周辺緑地および街灯の整備、既存の防災倉庫の拡張用地内への移設などを行う。



討議対象となった施策
(P8、P9参照)

令和7年度一般会計・各特別会計・下水道事業会計予算 予算特別委員会を設置して審査

本会議

3月24日

全会一致で可決

賛成討論

古宮 郁夫 議員

一般会計予算は、171億2,300万円で過去最大の額であり「新たな価値の創造」に結びつく多くの新規事業を含め、多岐にわたる科目で積極的な予算編成がなされている。今後、「経常収支比率の悪化、財政の硬直化」が危惧される。先を見据えた自主財源確保につながる投資の観点を持ち、効果的・効率的な行財政運営に努められるよう願う。

委員会

3月11日～17日

14名の議員が3日間にわたり
延べ289件の質疑
4日目に議員間討議



委員長：原 隆夫 議員
副委員長：古宮 郁夫 議員

※令和7年度まちの予算は
HPでご覧になれます。



教育

- Q** 不登校児童・生徒が増加傾向にあるが令和7年度の不登校対策は。

- A** 新たに中学校にも週1回程度専任相談員の派遣を再開し、相談体制の充実を図る。二中に配置した不登校対応のための都の加配教員が7年度からは瑞穂中学校に対しても巡回指導する。教育支援室「いぶき」には学習面だけでなく居場所機能としても充実させていく。

- Q** 小・中学校体育館の空調工事の時期と体育館利用の対応は。

- A** 二中を除く全小・中学校に空調工事を実施する。補助金の交付決定の時期の関係で工事は2学期を中心に実施する予定。学校の行事や状況に合わせて工事を進めていく。



瑞中の体育館

福祉・健康

- Q** 多世代交流センター運営費の中の備品購入費400万円の内容は。

- A** シンク、ガステーブルなど厨房部分の備品を購入する。指定管理者から厨房を活用してシェアキッチン、料理教室、施設内の畑でできた野菜を使ったワークショップなどに利用する提案が出ている。

- Q** 学童保育クラブ運営に、これまでのNPO以外に株式会社にも委託した理由は。

- A** 人材が非常に不足し、今後、6カ所の学童を運営していくことに懸念があるといった声がNPOの中からあったため、二小、三小学童の運営を株式会社へ移行する予定。近隣市でも株式会社への移行が進んでいる。なお、五小については「MIZCUL(ミズカル)」の指定管理者が運営する。

- Q** 男性HPVワクチン任意予防接種費用助成金として173万円計上しているが内容は。

- A** 事業開始日は令和7年4月1日を予定。接種対象者は、小学6年生から高校1年生相当までの男子36名分を見込む。1回当たりの上限額は1万6,036円。接種回数は、被接種者1人当たり3回まで。